

ティーチング・ポートフォリオ

大学名 人間総合科学大学

所 属 保健医療学部リハビリ

テーション学科理学療法学専攻

名 前 石塚大悟

作成日 2023年9月15日

1. 責務 (何を行っているか、何を果たしているか)

現在、リハビリテーション学科理学療法学専攻の3年担任であるとともに、「急性期理学療法学」「呼吸器系理学療法学」「運動学実習」「日常生活活動学」「評価学臨床実習」「総合臨床実習Ⅰ」「総合臨床実習Ⅱ」「理学療法学総合演習Ⅴ」「理学療法学総合演習Ⅵ」の科目を担当しており、特に「急性期理学療法学」「呼吸器系理学療法学」「日常生活活動学」の3科目では科目責任者を務めています。その他、委員会活動として昨年から参加している「学修支援ワーキンググループ」の他に今年度からは「FD・SD委員会」と「産学連携委員会」にも参加し、大学の総合的な運営の一助となるように努めています。また、教員の中では最も年齢が若いという立場から、学生の相談に乗ることや、近い視点で物事の指導をすることを心掛けています。

2. 理念 (教育に対する考え方)

大学生活は学生と社会人の橋渡しになる非常に重要な4年間です。理学療法の知識・技術を身につけることはもちろん、人のことを想う力や社会で働く上で必要なスキルも磨いていきましょう。対象者から信頼される理学療法士になるために理学療法の技術や人間性や主体性など、必要となるものを身につけるためのサポートを全力でしていきます。

3. 方法 (教育方法において大切にしていること)

学生が自分の頭で考えられるようになることを大切にしています。ただ、正解を教えるのではなく学生自身の理解度を確認しながら、学生が最終的には1人で考えることができるように道筋を立てるように意識しています。そのために学生とのコミュニケーションを大切にし、学生が話しやすい環境づくりに努めています。

4. 成果 (学生さんからの評価に対して、学生さんの学修成果について)

今年の「呼吸器系理学療法学」の授業アンケートにおいて、学生から授業の内容を理解しやすい、質問等への対応も丁寧で生徒思いたというコメントを含めて、概ね高い評価を頂いています。教育カリキュラムも大きく変わり多様な学生がいる中で、現場の状況を伝えつつ、基礎力も実践力も身につけていける授業を展開したいと考えています。

今年は「急性期理学療法学」と「理学療法学総合演習Ⅴ」の授業アンケートにおいて、全項目で平均以上の評価を頂いており、それぞれ総平均が4.2と4.3となっています。特に、「急性期理学療法学」の教員の話し方(声量や速度)は良かったですか?という項目は最も高い4.4という評価であり、学生の状況を踏まえた伝え方で授業を実施できていると捉えることができる。また、「理学療法学総合演習Ⅴ」においても、教員は質問に対して誠意をもって対応していましたか?という項目は4.4の評価であり、授業の方法と授業の運営ともに学生の状況を踏まえた内容を実施することができている。

5. 目標（教育活動の中短期目標と達成時期）

現在、私は本校に着任して2年目である。また、昨年度は4年生の担任だったが今年度は3年生の担任となっており、4年生は長期実習や就職活動、国家試験が中心となるため、3年生の学年運営の中で初めて経験することが多い。また、今年度から新たに担当している科目（運動学実習、日常生活活動学、理学療法学総合演習Ⅴ、理学療法学総合演習Ⅵ）も多い。そのため、今年度が終了するまでは学校の全体的な流れを把握しつつ、1人前に近づくことを目標として業務にあたっている。

現状、3年生の担任をしていて課題と感ずることとしては、学習習慣や学習方法について身につける機会が不足しており、学生が良い成績を修めることができていることではないことである。授業や質問を通じて専門知識を身につける機会は十分与えることができているが、一方で基盤となる学習方法や習慣については学生の個人の裁量に任されているのが現状である。時折、面談や個別の質問の際に学習方法について相談してくれる学生もいるが数も少ない。また、学習方法や習慣がつけられない結果、モチベーションが低下し成績不良となり、留年率や退学率が高い一因となっていると考える。

そのため、中期的な目標としては上記で挙げたような学習習慣や学習方法について3年生や2年生などのより早い時期で定着させる機会を増やしていきたいと考えている。学修支援にあたっては、ワーキンググループで主に4年生に実施してきた成果や、新しく運営を検討しているピアサポートシステムなども含めて総合的に取り組んでいきたいと考えている。また、私自身が公認心理師の資格も習得しているため、必要時のサポート等についても自分の知識や経験を活かしてより、確固たる仕組みを作成していきたい。

* 表紙を含め、全体として、3～10ページ程度とします。

【添付資料】

* TPの記載内容を客観的に示すためのエビデンスとなる資料項目を箇条書きで列挙ください。

（シラバス、開発教材、学生アンケート等、特に特徴的なものを列挙し、必要に応じて、すぐに確認できるようにしておきます。）

- ・シラバス（担当科目について記載）
- ・授業アンケート（2022年後期「呼吸器系理学療法学」）
- ・授業アンケート（2023年前期「急性期理学療法学」「理学療法学総合演習Ⅴ」）